

10年間の行財政改革で 財政の健全性と住みやすさを高めました。

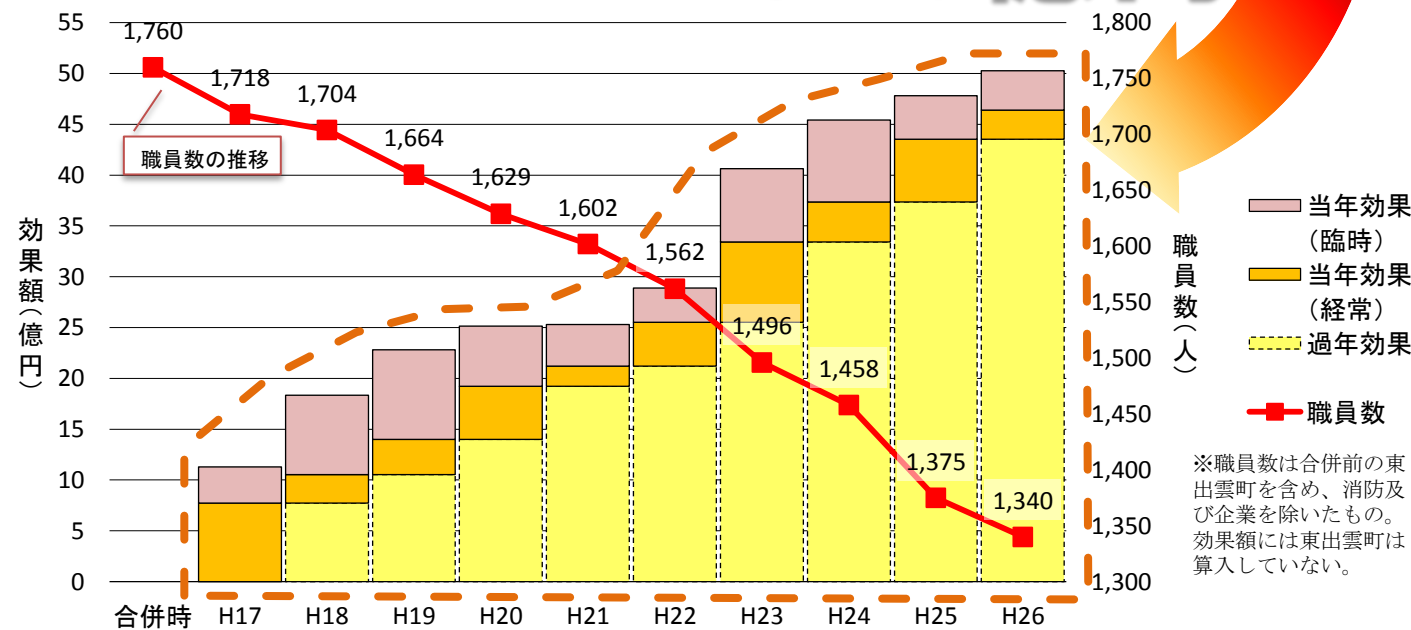
「ビルドのためのスクラップ」を標語に、

- ◎ 合併後の「松江市」の姿を整えるための徹底した合理化と、
- ◎ 合併時の未調整事項の早急な調整・統一を中心に、
前期（H17～22）・後期（H23～26）に各43計画項目の改革に取り組みました。

《主な取り組み》

人件費の圧縮	アウトソーシングの推進	公共施設の整理
職員400人削減計画の達成 ・東出雲町を含め420人の減員 給与制度の見直し ・特別職・一般職の減額 ・技能労務給料表の導入 ・寒冷地手当の廃止 公務労働の効率化 ・校務技師の嘱託職員化 ・窓口業務の嘱託職員化 など	ごみ収集業務の完全民間委託化 新ごみ処理施設の包括的運営業務委託化 給食センターの民間委託 ・H17西C、H20北・島根C、 H21南・宍道C、H25鹿島・東出雲C 指定管理者制度の導入 ・指定管理施設257（うち公募40） など	公民館運営形態の見直し ・旧町村公民館の1館体制自主運営方式への移行（鹿島・東出雲を除く） ・旧町村公民館地区館・分館の処分（地元譲渡9、解体4） 旧町村地区集会所の地元譲渡（34施設） 幼稚園・保育所の整理統合 ・民間譲渡1、閉園1、統合・幼保園化6→4 公共施設適正化基本方針の策定 など
受益者負担の適正化	ICTの活用	その他
地域で異なる使用料等を統一 ・保育料、下水道・簡易水道料金 主な料金改定 ・南北霊園使用料、女子高授業料、ごみ処理手数料、国民健康保険料、水道料金 など	新行政情報システムの導入 電子申請手続きの拡充 電子入札の導入 コンビニ収納の実施 など	総合案内・ワンストップ化の推進 滞納整理の徹底（市税徴収率97.7%） 外郭団体の解散（5団体） 特別会計の整理統合（19→9会計） 公営企業の経営健全化 など

生み出した効果額は累積 316億円 相当

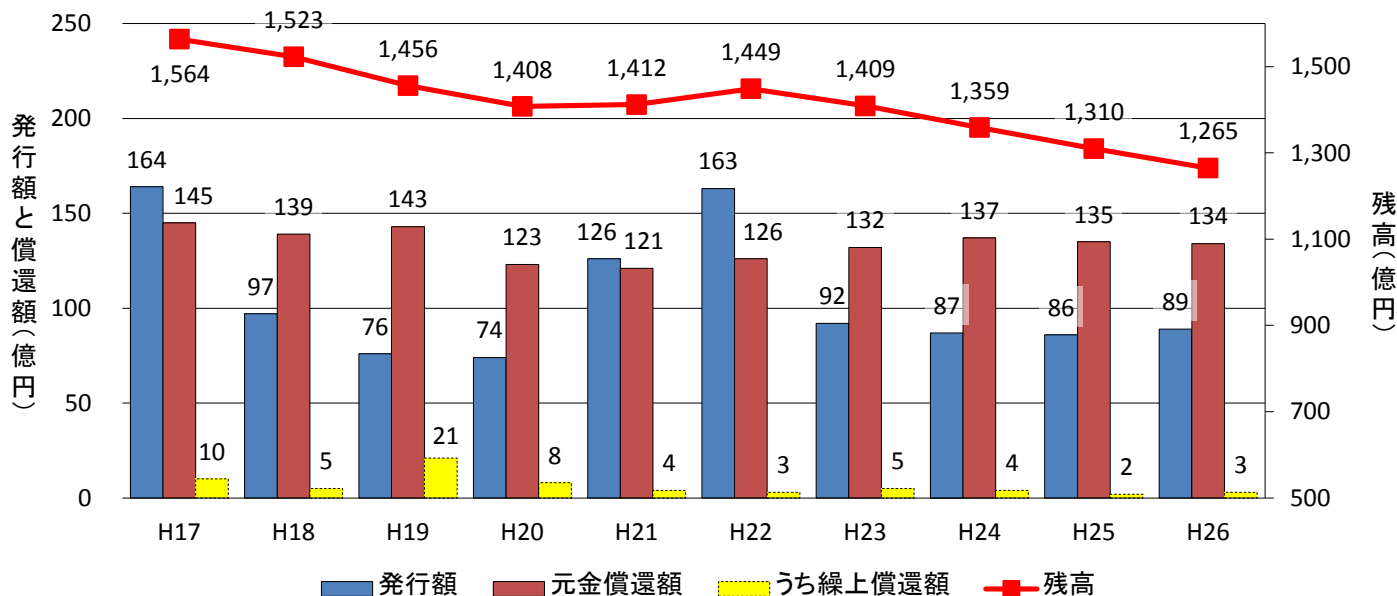


行財政改革の成果

その① 財政の健全性が向上しました！

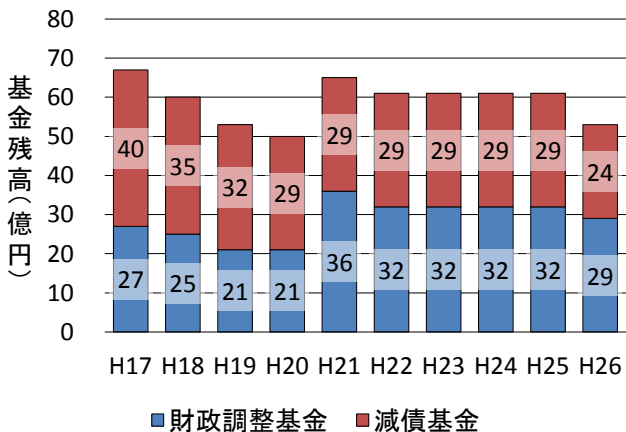
地方債残高を299億円削減

発行の抑制と積極的な繰上償還を行いました。
※合併前の東出雲町を含む。



基金を一定額確保

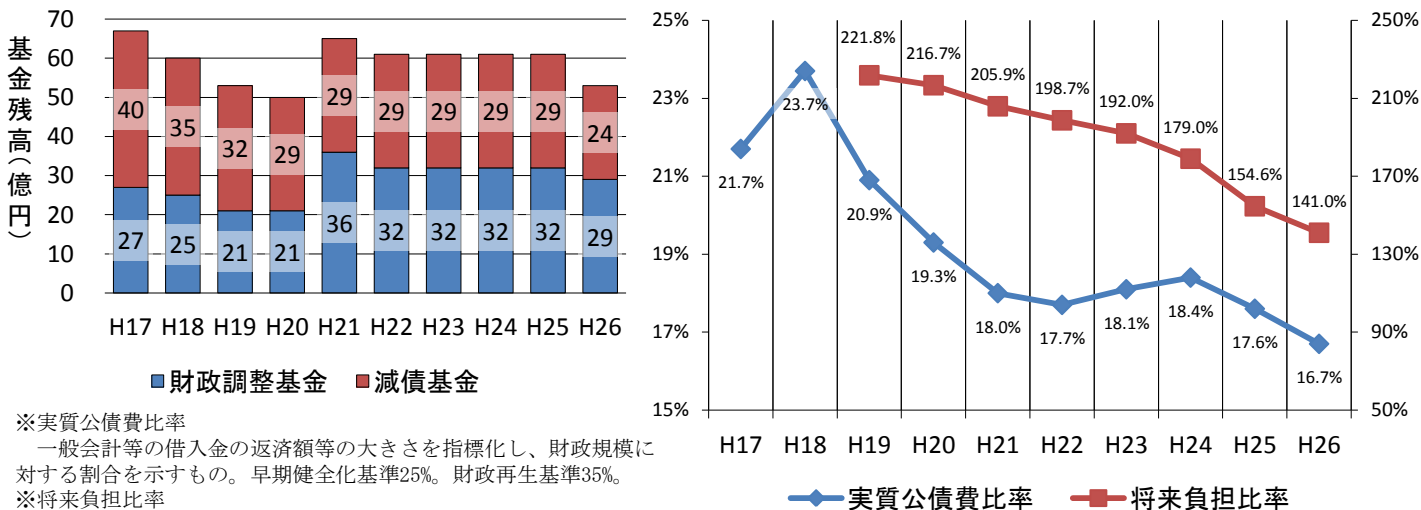
毎年60億円前後の基金を確保しました。
※合併前の東出雲町を含む。



財政健全化指標が改善

ピークから
実質公債費比率は7ポイント低下しました。
将来負担比率は80.8ポイント低下しました。

※合併前の東出雲町を除く。



※実質公債費比率

一般会計等の借入金の返済額等の大きさを指標化し、財政規模に対する割合を示すもの。早期健全化基準25%。財政再生基準35%。

※将来負担比率

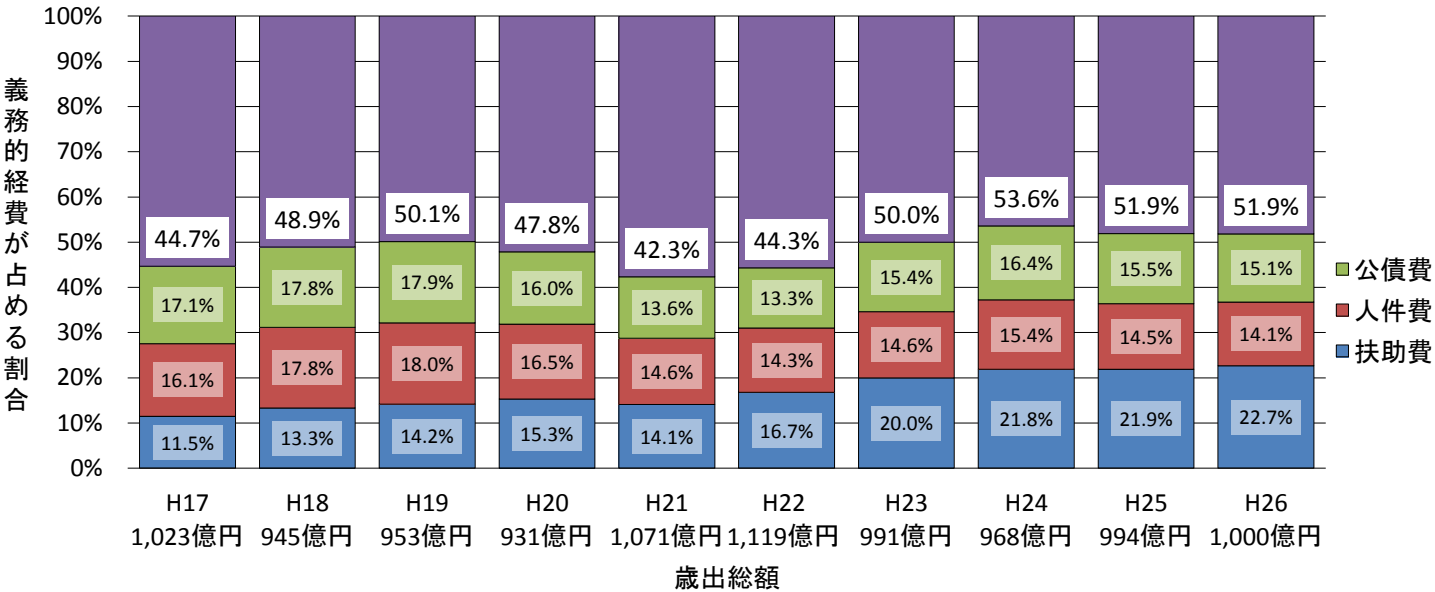
平成19年度決算から算定。一般会計等の借入金等の残高を指標化し、財政規模に対する割合で示し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを表すもの。早期健全化基準350%。

その② 増加を続ける扶助費に対応しました！

歳出総額の膨張を抑制

人件費や公債費を中心に扶助費の倍増を吸収し、歳出総額を1,000億円前後に止めました。

※合併前の東出雲町を含む。



※扶助費

社会保障制度の一環として障害者総合支援法、児童福祉法、生活保護法等の法令に基づく給付や、市単独で行う各種扶助のための経費。

その③ 特色あるまちづくりを進めました！

ハードとソフトの両輪で住みやすさをグレードアップ

都市基盤の整備で社会資本を充実しながら、特色あるまちづくりも進めました。

都市基盤の整備と
ネットワーク化

両立

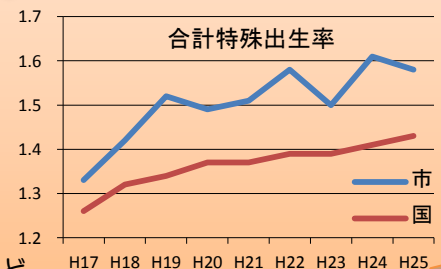
特色あるまちづくり

- ✓ 幹線道路網、避難道路の整備
- ✓ バス中心の総合交通体系の構築
- ✓ 小中学校施設耐震化の早期完了
- ✓ 下水道整備の完了
(ほぼ全市域の普及達成)
- ✓ 高速通信回線網整備の完了
- ✓ 新ごみ処理施設の建設
- ✓ 大橋川改修事業の再開 など

◎ 子育て支援、教育の充実

- 6年生までの医療費無料化
- 年度当初の待機児童の解消
- 保育料の軽減
 - ・ 対国基準軽減率40%
 - ・ 第3子以降の無料化
- 特別保育(病児・病後児ほか)の実施
- 放課後児童クラブの拡充
- 小中一貫教育の全校実施
- ふるさと教育、英語教育の充実 など

子育て環境「全国3位」
(H20日本経済新聞社)
合計特殊出生率の上昇



そのほかにも まだまだ たくさん...

◎ 産業の振興

Ruby City MATSUE プロジェクト
まつえ産業支援センターを拠点とした
ものづくり産業の振興
牡丹の台湾・ロシアへの販路拡大
ブランド化の推進 など

新規立地 **38社**、新增設 **30社**
新規雇用 **972人** (H18~26年度)

◎ 観光の振興

松江開府400年祭の開催
まちあるき観光とインバウンドの推進
松江歴史館の開館
温泉街の再整備 など

観光入込客数
1,000万人達成
(H25年度)

「日経地域情報化大賞」
受賞 (H19日本経済新聞社)

◎ 高齢者・障がい者(児)の支援

総合的な相談・支援窓口の開設 など
・地域包括支援センター(高齢者)
・まつえ障がい者サポートセンター「絆」
(障がい者)
・松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」
(乳幼児期~小中学年齢)

「歴史ある牡丹の島 大根島」が
「花の観光地づくり大賞」
受賞 (H20日本観光協会)

玉造温泉姫ラボ石鯛
(**全国商工会連合会会長賞**)
福浦さわら (**天皇杯**)
松江の炭火あご野焼き、
まる畑干し柿 (**本場の本物**)
など

玉造地区が
「まちづくり達成大賞」
受賞 (H25国土交通省)

◎ 防災対策

自主防災組織、
要援護者支援組織の結成促進と支援
屋外スピーカー、屋内告知端末、
防災メールの整備 など

防災行政・市民連携度
「全国2位」
(H22日本経済新聞社)

◎ 環境対策

リサイクル都市日本一の取り組み
再生可能エネルギーの普及促進
宍道湖・中海の水環境の改善 など

宍道湖産シジミH26漁獲量
「日本一」 (4年ぶり)
中海産赤貝H25本格出荷
(35年ぶり)

◎ 共創のまちづくり

市民活動センターの開設
若者・女性の活躍支援
平成の開府元年まちづくり構想の策定
松江城国宝化市民運動の展開 など

松江城天守の国宝指定
縁雲による雨の日の松江プロジェクト
H25 **「アジア都市景観賞」** 受賞

地域の暮らしやすさ指標
「全国1位」

(H27経済産業省「地域の暮らしやすさ指標の貨幣価値」)